

教育研究評議会（令和7年度第7回）議事要旨

1. 日 時 令和7年10月21日（火）13:30～14:37

2. 場 所 オンライン会議

3. 出席者（参集） 塩崎議長（学長）
（Webex） 加藤、太田、小谷、西村、ベントンの各評議員（理事）
出村、笠原、上久保、加藤、細川、井上、別所、船津、種池、筒井の各評議員

欠席者 松下評議員

出席監事(Webex) 春本、柴田の両監事

陪席者（参集） 蜂谷、東の各課長
（Webex） 元平部長
有賀、守山、田上、山本、伊賀、多田の各課長

（配付資料一覧）

資料1	教育研究評議会（令和7年度第6回）議事要旨（案）
資料2	奈良先端科学技術大学院大学マテリアル研究プラットフォームセンターの運営に関する規程の一部改正について
資料3-1	教員人事について（審議）
資料3-2	教授選考結果報告書
資料3-3	教員選考結果報告書
資料3-4	教員選考結果報告書
資料4	奈良先端科学技術大学院大学外国人留学生特別奨学制度に係る対象者枠の決定について（2026 年秋入学者及び2027 年春入学者）
資料5	令和7年度 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学 運営体制
資料6-1	教員人事について（報告）
資料6-2	教員人事について（報告）
資料6-3	教員人事について（報告）
資料7	令和7年 人事院勧告について
資料8	令和8年度 奈良先端科学技術大学院大学支援財団 支援事業計画
資料9	屋外テラスに係るネーミングライツ・パートナーの選定結果について
資料10	2025年度入学者選抜試験の実施状況について
資料11	2025年度オンライン学生募集説明会（9月分）の実施状況について
資料12	令和8年度科学研究費助成事業の応募状況について

4. 議 事

（前回議事要旨の確認）

資料1に基づき、令和7年度第6回の議事要旨（案）について、原案のとおり承認した。

（審議事項）

（1）奈良先端科学技術大学院大学マテリアル研究プラットフォームセンターの運営に関する規程の一部改正について

議長から、資料2に基づき、奈良先端科学技術大学院大学マテリアル研究プラットフォームセンターの運営に関する規程の一部改正について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

（2）教員人事について

議長から、資料3-1～4に基づき、教員人事（教授への昇任2件及び助教の採用1件について）

て説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

(3) 奈良先端科学技術大学院大学外国人留学生特別奨学制度の実施について

太田理事から、資料4に基づき、奈良先端科学技術大学院大学外国人留学生特別奨学制度の実施について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

(主な意見は、次のとおり)

- ・所要額について、運営費からの支出が年々増加しているが、大学に収入が見込めなければ支えきれなくなる。この点、どの程度精査していて、今後に備える予定か。
- 支援内容の一つである RA 雇用は、例えば J-PEAKS 事業に関係する内容に従事する学生であれば、J-PEAKS 予算から支出する等の対応により、運営費支出の割合を減らすことが可能だと考えている。ただ、令和12年度以降は J-PEAKS 事業の継続も不透明であるため、財源については引き続き考えていく必要がある。
- 大学としては、J-PEAKS 事業の進展に伴い、大学の収入が増加し、こうした経費を賄えるようにすることが重要である。また、国に対しては、SPRING に代わる留学生への経済支援を継続的に訴えていくことが重要と考える。

(報告事項)

(1) 令和7年度運営体制等について

議長から、資料5に基づき、令和7年度運営体制等について、報告があった。

(2) 教員人事について

議長から、資料6-1~3に基づき、教員人事(助教の退職3件、特任助教の採用1件及び客員教授の称号付与)について、報告があった。

(3) 令和7年人事院勧告について

東人事課長から、資料7に基づき、令和7年人事院勧告について、報告があった。

(主な意見は、次のとおり)

- ・通勤手当について、「②現行の距離区分」に係る見直しについては、令和7年4月1日実施となっているが、遡って引き上げることか。
- 人事院勧告としては、令和7年4月1日実施であるため、本学でも遡って対応するか、それとも本学では例えば令和8年4月1日から実施とするかは、今後の検討状況による。

(4) 令和8年度奈良先端科学技術大学院大学支援財団支援事業計画について

元平管理部長から、資料8に基づき、令和8年度奈良先端科学技術大学院大学支援財団支援事業計画について、報告があった。

(5) 屋外テラスに係るネーミングライツ・パートナーの選定結果について

元平管理部長から、資料9に基づき、屋外テラスに係るネーミングライツ・パートナーについて、報告があった。

(6) 2025年度入学者選抜試験の実施状況について

出村研究科長から、資料10に基づき、2025年度入学者選抜試験の実施状況について、報告があった。

(7) 2025年度オンライン学生募集説明会(9月)の実施状況について

出村研究科長から、資料11に基づき、2025年度オンライン学生募集説明会(9月)の実施状況について、報告があった。

(8) 令和8年度科学研究費助成事業の応募状況について

筒井事業推進部長から、資料12に基づき、令和8年度科学研究費助成事業の応募状況について、報告があった。

(主な意見は、次のとおり)

- ・傾向として本学の申請件数は増えてきているのか。また日本全体でも申請件数が増えていると聞いているがその原因は何か。
 - 本学では、申請件数は増えているが、金額や採択件数がやや減っているというのが現状である。
 - 日本全国で私学も含め、各大学が科研費の申請を促していると聞いている。特に私学はコンサルティング会社に申請書の添削等を依頼しているところもあり、申請件数の増加に繋がっていると考えられる。

以 上